

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 21日 更新

事務事業名	解放子ども会学習会開催事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	飯開 輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬 義継
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5 3 3 4
予算科目	会計一般	10	5	4	10861	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 50 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和46年頃、同和教育推進教員(当時)の配置により、同和地区に住む児童生徒の部落差別の解消を目的に始まった。旧合志町エリアの解放子ども会(小・中・高校生)学習会は、解放子ども会会員を対象に解放学習、教科学習やレクリエーションを実施し仲間づくりと差別に負けない学習に取り組んだ。旧西合志町では、中学生を対象に人権教育子ども会として学習を取り組んでいる。
【業務の流れ】	5月の開講式の際に小・中・高校の先生へ学習会講師の委嘱を行う。開講式前までに解放子ども会会員、講師の委嘱を行う先生へ保険をかける。8月は合同キャンプを開催する。年3回(4ヶ月に1度)学習会講師へ謝金を支払う。学習会開講式、閉講式に出席する。開講式時には、委嘱状交付があるので、事前に委嘱状の準備をする。12月に団結餅つきを行う。その他、学習会に必要な用品の購入を行う。(随時)
【主な予算費目】	職員手当等、報償費、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
解放子ども会学習会(小学校:週1回、中学校:週2回、高校:週1回)及び人権教育子ども学習会(中学校:週1回)を開催した。7月末に解放子ども会、人権教育子ども会の小・中学生合同のキャンプ、12月に団結餅つきを実施し参加者の仲間づくりと差別に負けない学習に取り組んだ。	前年度と同じく学習会の開催と、8月は解放子ども会、人権教育子ども会の小学生・中学生合同キャンプを実施する。また、年末には団結餅つきを行い、会員、講師、地域の交流を深める。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 学習会開催回数	回 キャンプ場の距離の変更に伴うバス借上げ料の減
イ: 学習会参加者数(延べ人数)	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
解放子ども会会員(児童・生徒)	(単位) ア: 解放子ども会会員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
差別に負けない力をつけることができる。	(単位) ア: 差別を見抜く力を身につけた人の数 人
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠	
差別を見抜く力を身につける事が差別に負けない力をつけることにつながるため。目標値は解放子ども会会員数	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	127	140	160	140	160	160	160	160	
	イ 人	1,006	800	900	800	900	900	900	900	
② 対象指標	ア 人	38	42	50	41	50	50	50	50	
	イ									
③ 成果指標	ア 人	38	42	50	41	50	50	50	50	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,990	2,045	1,982	1,803	1,961	2,000	2,000	2,000
	(A) 事業費計	千円	1,990	2,045	1,982	1,803	1,961	2,000	2,000	2,000
人件費	(A)のうち指定経費	千円	143	176	106	81	105	105	105	105
	(A)のうち時間外、特勤	千円	130	163	93	72	92	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	4	0	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	300	330	320	430	320	320	320	0	
(B) 人件費計	千円	0	1,305	1,274	1,695	1,274	1,274	1,274	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,990	3,350	3,256	3,498	3,235	3,274	3,274	2,000	

事務事業名	解放子ども会学習会開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 子どもの数が減少傾向ではあるが、参加された子ども達はみんな、差別を見抜く力を身につける事が出来た。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 学習会に参加された子ども達は、学習会やキャンプ等を通して、仲間づくりや部落問題についての学習を深める事ができる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 子どもたちが参加しやすいように学習会の内容を検討することにより多くの子どもたちの参加が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はほかにない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低必要な経費のみを計上しており、これ以上の削減は見込めない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減は見込めない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 解放子ども会の参加者は、市内の児童・生徒であり、差別に負けない力の育成をめざし学習を行っているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 差別をなくす取り組みは、行政の責務であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

参加した子ども達は、部落問題について学習を深め、差別を跳ね返す力を身につけることが出来た。キャンプでも、仲間づくりやみんなで協力し合って作業する事等いろいろな事を学ぶ事が出来た。しかし、子どもの数が減少気味であり、今後は子ども達が参加しやすいよう内容を考えていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 参加する子どもたちは、解放学習により部落問題について学習を深め差別を跳ね返す力を身に付けている。夏季キャンプや団結餅つきにおいて仲間づくりや協力して作業することなどを学ぶことができた。 しかし、会員数が減少気味であり子どもたちが参加しやすいよう学習内容も考えていく必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						